

報道関係各位

2014年2月13日

英国オックスフォード大学出版局が、小中学校の教員に向けた特別企画「義務教育における外国語指導支援プログラム」を開催

小学校における外国語活動の必修化や英語の教科化の流れを受け、経験豊富な英語教師が、授業で活かせる指導のコツや指導要領に則った効果的な授業の進め方、英語学習を通して主体的に物事を考え、伝える力を育む方法などを指南します。また、文部科学省の担当者を迎え、外国語教育の現状と課題について多角的に検証します。

オックスフォード大学の一部局である英国オックスフォード大学出版局(Oxford University Press 以下 OUP、東京支局名称:オックスフォード大学出版局株式会社、所在地:東京都港区、代表取締役社長:中村清和、URL: <http://www.oupjapan.co.jp/>)では、2014年2月22日(土)大阪会場、ならびに、3月1日(土)東京会場で、すべて日本語による小中学校の教員に向けた特別企画「義務教育における外国語指導支援プログラム」を開催します。OUP 東京支社では、この特別企画の受講申し込みをインターネットにて受け付けています。いずれも受講料は、無料です。

OUP では、日本国内において、15年以上にわたり毎年、そのほとんどを英語によって行う「オックスフォード児童英語教師向けワークショップシリーズ」を開催しています。近年では、動員数が毎年1,000名を超えるほどの活況を呈しており、英語を児童に教える全国の先生方が、日々の授業に役立てている様子が伺えます。

本年の「オックスフォード児童英語教師向けワークショップシリーズ 2014」(URL: <http://www.oupjapan.co.jp/kidsclub/otws2014>)は、2月9日(日)から同年3月16日(日)までの間に全国9会場で開催されますが、このほど実施する「義務教育における外国語指導支援プログラム」はその特別企画となるものです。

日本では、2011年度から小学校5-6年生の授業で必修となっていた「外国語活動」を、小学校3年生に前倒し、5-6年生では英語を正式教科化する方針を文部科学省が示しています。さらに、2020年東京オリンピック開催も決まり、「グローバル人材育成」や外国語教育に対する熱が益々高まっています。こうした動きの中で教育現場ではその対応が大きな課題となっています。

特別企画「義務教育における外国語指導支援プログラム」は、英英辞典や英語教育開発に定評のある世界最大規模の学術系出版社であり、語学教育のグローバルスタンダードに長けた OUP が、外国語教育の有り様について探る場を提供するものです。

当日は、経験豊富な英語教師が、授業で活かせる指導のコツや指導要領に則った効果的な授業の進め方、英語学習を通して主体的に物事を考え、伝える力を育む方法などを指南します。また、パネルディスカッションでは、小学校教員や英語教育を専門とする大学教授に加え、文部科学省の担当者を迎え、小中学校における外国語教育の現状と課題について多角的に検証します。

多様な視点を盛り込んだ当ワークショップは、グローバルな舞台で真に活躍することのできる人材の育成法を探るうえでも示唆に富んだイベントとなります。開催概要は、次の通りです。

【特別企画「日本の義務教育における外国語指導支援プログラム」開催概要】

■名 称 「オックスフォード児童英語教師向けワークショップシリーズ 2014
特別企画 ワークショップ&パネルディスカッション
義務教育における外国語指導支援プログラム」-大阪

■日 程 2014年2月22日(土)

■会 場 新大阪ブリックビル 3F Room C+D
住所:大阪府大阪市淀川区宮原 1-6-1

■プログラム(敬称略)

10:30-11:20

【ワークショップ1:多読を取り入れた英語指導】

[プレゼンター] 鈴木 祐子 (ABC4YOU 英語乳幼児教室)

11:30-13:00

【パネルディスカッション:小中学校における外国語教育の現状と課題】

[登壇者] 神代 浩 (元文部科学省 初等中等教育局)

矢野 淳 (静岡大学)

島崎 貴代 (大阪市立住之江小学校)

[議 題] ・小学校での英語教科化をめぐる現状と課題

・小中学校の連携の在り方

・学習成果の評価

・必要とされる指導力を身に付けるための教員研修

■14:00-14:50【ワークショップ2:考える子どもを育てる授業】

[プレゼンター] 外山 節子 (「English Time」共著者、敬和学園大学客員教授)

■詳細および事前予約方法

URL: <http://www.oupjapan.co.jp/kidsclub/otws2014/schedule.shtml>

====

■名 称 「オックスフォード児童英語教師向けワークショップシリーズ 2014
特別企画 ワークショップ&パネルディスカッション
義務教育における外国語指導支援プログラム」-東京

■日 程 2014年3月1日(土)

■会 場 あいおいニッセイ同和損保新宿ビル 3F D会議室
住所:東京都渋谷区代々木 3-25-3

■プログラム

10:30-11:20

【ワークショップ1:多読を取り入れた英語指導】

[プレゼンター] 鈴木 祐子 (ABC4YOU 英語乳幼児教室)

11:30-13:00

【パネルディスカッション:小中学校における外国語教育の現状と課題】

[登壇者] 田淵エルガ (文部科学省 初等中等教育局)
金森 強 (関東学院大学)
小林 美智 (大田区立志茂田小学校)

[議 題] ・小学校での英語教科化をめぐる現状と課題
・小中学校の連携の在り方
・学習成果の評価
・必要とされる指導力を身に付けるための教員研修

14:00-14:50

【ワークショップ 2: 考える子どもを育てる授業】

[プレゼンター] 外山節子 (「English Time」共著者、敬和学園大学客員教授)

■詳細および事前予約方法

URL <http://www.oupjapan.co.jp/kidsclub/otws2014/schedule.shtml>

【英国オックスフォード大学出版局 (Oxford University Press) について】

オックスフォード大学出版局は、英国オックスフォード大学の一部局で、学術、研究、教育の振興に寄与するという同大学の目的を達成するために、世界規模の出版活動を行っています。現在は、年間4千点を超える新刊を出版し、約50カ国を拠点に6,000人以上の従業員を擁し、幅広く国際的に事業を展開しています。

日本国内では、「オックスフォード現代英英辞典」として知られる『Oxford Advanced Learner's Dictionary』や、ロングセラー児童英語教材『Let's Go』シリーズといった弊社の刊行物が広く普及しています。

また、刊行物を出版・販売するだけでなく、国内の教育振興に貢献すべく、教師向けワークショップやセミナーを積極的に開催しています。15年以上にわたり毎年実施している「児童英語教師向けワークショップシリーズ」は、近年では動員数が毎年1,000名を超えるほどの活況を呈しており、英語を児童に教える全国の先生方により、日々の授業にお役立ていただいています。

【報道関係各位の取材申し込みについて】

OUP 東京支社では、特別企画「義務教育における外国語指導支援プログラム」の報道関係各位による取材・聴講を受け付けています。

・申込方法

e-mail kayoko.ikeda@oup.com

担当: 池田 (Tel: 03-5444-5454 内線 712)

・記載事項

件名: 特別企画取材の件

社名

来場代表者名

来場人数

連絡先 (メールアドレス)

取材ご希望のプログラム開催日および開催地

【会社概要】

- 会社名 オックスフォード大学出版局株式会社
- 代表者 代表取締役社長 中村清和
- 資本金 89,824,000 円
- 設立 1957 年 11 月 1 日
- 所在地 〒108-8386 東京都港区芝 4-17-5 相鉄田町ビル 3 階
- TEL 03-5444-5454
- FAX 03-3454-2221
- URL <http://www.oupjapan.co.jp/>
- Email elt.japan@oup.com
- 事業内容 書籍の輸入および卸売